

令和2年度 第1回三田市環境審議会 議事概要

| | | | |
|--------------------|---|-------|------------------|
| 会議の名称 | 令和2年度 第1回三田市環境審議会 | | |
| 会議の日時 | 令和3年3月19日(金) 18:00～19:20 | | |
| 会議の場所 | 三田市役所 2号庁舎 3階 2301 会議室 | | |
| 出席した委員の氏名 | 佐藤 裕司委員、石田 弘明委員、佐山 浩委員、 安田 潤平委員、山田 五郎委員、阪本 浩司委員、 森 里美委員、道阪 悦子委員、山田 敏雄委員 木下 勝功委員、秦 亮人委員 | | |
| 出席した庶務職員の職 及び氏名 | 事務局 | 環境共生室 | 川田室長 |
| | | 環境創造課 | 辻下課長、辰巳課長補佐、寺嶋主任 |
| 傍聴者の人数 | 0名 | | |
| 取材者の人数 | 0名 | | |
| 議題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 委員紹介 4. 会長・副会長選任 5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・会議録の取り扱いについて ・第3次三田市環境基本計画の進捗管理について ・その他 6. 閉会 | | |
| 会議の概要 | 第3次三田市環境基本計画の進捗管理の概要について説明を行い、それに対する質疑を行った。 | | |
| 公開・非公開の区分 | 公開 | | |
| 使用した資料の名称 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第3次三田市環境基本計画取り組み評価シート ➤ 令和2年度 三田市環境審議会委員名簿 ➤ 三田市環境基本計画 | | |
| 連絡先 | | | |

■委員紹介

2年毎の委員の改選ということで、改選後初めての開催にあたり委員紹介を行った
(令和2年度 三田市環境審議会委員名簿の通り)

■会長・副会長

三田市環境審議会規則第2条の規定により、正副会長は委員の互選により選任することになって
いたが、意見がないため事務局側から提案

学識経験者から会長として佐藤委員、副会長として石田委員を提案
賛成多数により、会長、副会長決定

■議事:

三田市環境審議会規則第2条第2項の規定により、佐藤会長が進行

・会議録の取り扱いについて

個別の発言者名を記載せず、「会長」「委員」「事務局」等の記載とする。

・第3次三田市環境基本計画の進捗管理について

(事務局) 「第3次三田市環境基本計画全取り組み評価」【資料1】について説明

(委員) 進捗管理シートP5の成果指標内の「新たなエコツーリズムの実施」の目標値が
「増加」となっているが、例えば今後回数が減ったとしても、当初からは増加して
いるから目標達成なのか、それとも、年々増加していくことが目標達成なのか。
また、「生物多様性地域戦略の策定」の目標値は「R2達成」となっているが、現
在の状況はどうなっているか。

(事務局) エコツーリズムの実施については、年々増えていくのが理想だが、当初、具体的
な回数を設定していなかった。現在6回実施なので、最終年度までに増やすこ
とをめざしながら、最低6回は維持したいと考えている。

(会長) 6回を最低回数にして、なるべく1回でも増えていくような形で取り組んでいただ
きたい。

(事務局) 環境基本計画の中で、「生物多様性地域戦略の策定」については、現況調査し
たときにR2年度で予定していたが、状況的にR4年度頃の策定になる見込み
である。

(委員) P8、P10どちらにも「クールチョイスの取組」が記載してあるが、これはP8の「低
炭素型ライフスタイルへの転換」が市役所内部の取組で、P10「地球温暖化への
対応」が外部での取組というくりか。

- (事務局) 基本的には、クールチョイスは市役所内部だけの取組ではなく、市職員・市民・事業者も含めた取組である。内部と外部を分けて記載しているわけではなく、どちらの項目にも関わることなので、どちらにも記載している。
- (委員) 温室効果ガスを2030年度に26%削減という目標はかなり高いと思うので、市役所職員だけが意識しても達成は難しいと思う。課題にあるようにオール三田がキーワードになると思う。
成果指標に、クールチョイス関連 PR ホームページとあるが、どういう状況か。
- (事務局) 環境省が呼びかけているクールチョイス賛同宣言というものがあるが、それに市も賛同している。同じく賛同宣言をしている市内事業者に、三田市役所と一緒にクールチョイスの推進に取り組まないかと呼びかけ、7事業所と1名の市民のクールチョイスネットワーク会議を開いている。この会議では、各事業所の取組を発表していただいて、情報交換、情報共有している。ホームページにはこのクールチョイスネットワーク会議の情報ははじめとした、クールチョイスの内容を掲載している。
- (委員) P8の成果指標は「市内電力使用量」となっているが、オール三田と言っているのであれば、市内全域の電力使用量の方がよいのではないかと。新しい指標も検討していただきたい。
- (事務局) 今の計画では、この指標を使用するが、次の見直しの時には、いただいたご意見を踏まえて検討したい。
- (委員) 「クールチョイス」という言葉は浸透していないと思うので、ホームページだけでなく、市内事業所に協力してもらってポスターを掲示してもらったりなど、市全体で取り組む方向にもって行ってほしい。
- (事務局) 来年度は、国の補助金を使って大々的に「クールチョイス」をPRしていく予定である。また、今年度は、小中学生にも「クールチョイス」をテーマとしたポスターの募集を行った。
- (会長) 「クールチョイス」は環境基本計画の重点プログラムと位置付けられているので、ご意見を反映して、良い方向にもって行ってほしい。
- (委員) P4. 5に鳥獣害の農作物被害の取組の記載があるが、これは要望にもなるが、この数値が適正だという判断はどこにあるのか。農作物被害額全体額が下がっているというのも一つかもしれないが、これは市全体の被害額だと思うので、できれば実際に被害にあっている集落ごとの評価を聞いていただきたい。
- (事務局) おっしゃる通り、捕獲頭数も、被害額も市内全域の数値ですので、地区別等で評価ができるように、集計の仕方を検討していきたい。

- (会長) 地区別に把握はできるのか。
- (事務局) 農村整備課での捕獲の分と、市街化区域は環境創造課分になるので、数値はつかめると思う。
- (委員) P6ごみの排出量は、算定根拠・基準値を見直したとあるが、28年度から30年度に大きく減っている。これは算定根拠の見直し以外に、何か原因があるのか。
- (事務局) こちらはクリーンセンターの所管になるが、廃棄物基本計画とこちらの環境基本計画がずれている関係で、算定根拠の基準値をみなおした。排出量が減っている要因は資源化に取り組んでいるなど色々あると思うが、細かい要因はこちらではつかんでいない。H30に下がっているが、R元にはまた増えているので、人口減などの影響ではないと思う。クリーンセンターに確認し、後日情報提供させていただく。
- (委員) 人口当たりのごみの排出量は、他の自治体に比べてどうか。
- (事務局) 人口の少ないところは細かい分別をしている関係で、排出量は少なくなる傾向にある。三田市は、都市部に比べると少ない傾向である。
- (委員) 再生可能エネルギーの導入推進、次世代自動車の普及促進なども掲げているが、家庭へのアプローチとしては、市から声をかけるだけで、実際は太陽光発電や次世代自動車の補助金はないように思う。市民の努力に任せるといふことか。
- (事務局) おっしゃるとおり、数年前までは太陽光発電の補助金制度があったが今はない。次世代自動車の補助金制度もない。低炭素から脱炭素へ流れが変わり、今後、脱炭素の取組が強化されるのではないかと考えている。国の補助金ができることも想定されるので、今後考えていきたい。
- (委員) 事業所のアプローチについて、先ほどのクールチョイスの話とも絡むが、エコドライブなどは事業所向けの広報や、案内などをすればいいのではないか。企業に任せている状況か。
また、市ホームページの閲覧数が、指標としてあがっているが、本当に興味があるから閲覧しているのか、それとも見づらいから、説明のページを何度も閲覧しているだけという場合もあるのではないか。
- (事務局) エコドライブについては、クールチョイスネットワーク会議でも啓発していきたい。市内には、他にも多くの事業所があるが、市広報は、事業者にも配布はしている。個別に企業にアプローチする方法はいただいた意見を踏まえて今後検討していく。ホームページについては、どのページに関心があるのか、アクセス数の取り方を分析できるようになれば、分析したい。

- (委員) 公害防止協定手続きの仕事をしていましたが、条例で決まっている数値の掘り下げがわかりにくくて大変だった。情報がつかみにくくて、わからなかったという経験がある。ホームページが見やすくなると企業も守りやすくなるので、わかりやすくしてほしい。
- (会長) 太陽光発電も、助成がないと増えていかないというのはあると思う。広報の話がでたが、市の広報誌は1月から新しくなって、市民の活動を大きくとりあげてあり、じっくり読むようになった。市広報も活用しながら、進めていただきたい。
- (委員) P1は「順調に進捗」となっているが、環境学習プログラム数の実績を見ると、講座数が少なく、基準年度からも減っているし、目標値には遠いと思われる。順調に進捗とは評価しがたいのではないか。
- (事務局) 担当課にも確認したが、年度によっては、企画するときに対象年齢を設定するものもあるので、プログラム数を増やせないこともある。講座数は少ないが、それぞれの講座の参加者は一定の数があるので、全体的な評価として順調に進捗と評価している。成果指標は2つの指標しかないが、成果指標だけではなく全体的な「具体的な取組内容」も含めた形で評価をしている。
- (委員) R2年度の実績は、コロナで減っていることが予想できるので、ここの評価は難しいものになると思う。
- (事務局) コロナの影響は、他の項目にも出てくると思うので、指標も含めて今後何か評価方法を考えていきたい。
- (委員) 重点プログラムがいくつかあるが、何か強めに発信したいものがあるか。オール三田で市民を巻き込んで取り組む必要があるなら、無理な指標設定でも、行政が主導で、市民に強めのメッセージを出さないとだめなのではないか。重点プログラムの中の、更に重点項目というのがあってもいいのではないかと思った。また、P6のごみの排出量のところで、新ごみ処理施設をつくるとなっているが、今のクリーンセンターではごみの量を処理しきれないということか、それとも、老朽化しているという意味なのか。
- (事務局) 重点プログラムについては、クールチョイスの認知度をあげて、低炭素から脱炭素へという取組を、市民・事業者と一緒にやっていきたい。クリーンセンターは老朽化での新ごみ処理施設の整備である。
- (委員) P9の再生可能エネルギーの導入推進は太陽光発電中心で考えているのか。

- (事務局) 新エネルギー戦略において、三田市の状況では、太陽光が一番効率的であるという結果が出ている。今後、脱炭素の取組の中で、新エネルギーについて世界的に技術革新が進み、今後、三田市の状況に適した新エネルギーがでてくれば取り入れたい。
- (委員) 三田市は「明日のかが見えるまち」のスローガンもあるので、風力発電も考えてほしい。
太陽光発電については、パネル処理のトラブルもあると聞く。自分の住んでいる地区でもメガソーラーの設置で、景観も悪くなった。自然環境の破壊も危惧している。太陽光発電からの脱却という思想があってもいいのではないかと思った。
- (事務局) 太陽光発電の設置に関しては、市でも一定の規制があるが、住民とのトラブルもあるというのは聞いている。国からも案が出る中で、住民合意を基本とするルール作りをすると聞いている。今のところ住民合意がなければ設置できないという規制はかけられないが、市としても地域の方の声を聴きながら、設置事業者呼びかけていきたい。
- (委員) P11の「さんだ防災・防犯メール」は市民全員に届くのか。これは広報にも載っているものか。
- (事務局) 広報にも載っているものである。メールは登録者のみに届く。
- (委員) R2年度のコロナの影響を今後どう評価していくかが気になる。
- (事務局) 他の計画の評価や、他市の状況を聞きながら検討していくのが良いかと考えている。
- (会長) コロナ禍で市がどのような取組をしたのかに視点を置いたらよいと思う。
- (委員) P11の成果指標「公害等に関する苦情件数」は減っているが、野外焼却の警察通報も半減以下で、件数が減ってきていると実感している。野外焼却の、通報は都市部からで、行為者は「昔からやっている」という主張をされる。住民同士の理解を進めるためにしていることはあるか。
- (事務局) R元年度からは、通報が多く、かつ都市部と近い地域で、刈草のサンプル回収をはじめた。R2は委託業者で回収をしており、草を袋に詰めるという作業が増えるので、農家にご負担をかけているが、今後も続けていく予定である。また、今年度は農家以外の市民を対象とした都市近郊農業のワークショップを開催した。農業の勉強や野外焼却の事例を説明したり、農業への要望などをききながら、体験などをとおして理解を深めていただいている。こちらも今後も継続していく予定である。

(会長) 野良猫の糞の被害に困っている。近所でえさをやっている人がいるのではないかと思う。市で、野良猫被害について何か取り組んでいるか。

(事務局) 前までは、「えさをやるな」という啓発をしていたが、動物愛護の観点から「無責任なえさやりをしない」という方向に変わってきている。今年度は市内のボランティア団体に「三田市ねこの連絡協議会」を作ってもらい、連携しながら、TNR(野良猫を捕獲し不妊去勢手術を施し、元いた場所に戻す)をして、地域で世話をする地域猫活動に取り組んだ。TNRをすることにより、徐々に猫の頭数が減っていく。来年度のTNRの補助金制度の創設に向けて取り組んでいる。

(会長) 他にご意見等がございませんので、議事については終了します。ありがとうございました。

■閉会

議事録については、後日、配布する。